

「笑えない父と笑わせたい愛娘」  
2024年日本民間放送連盟賞・番組部門  
テレビバラエティ 近畿地区審査で審査員特別賞を受賞

朝日放送テレビ制作の番組「笑えない父と笑わせたい愛娘」(2024年3月30日放送)が、2024年日本民間放送連盟賞・番組部門 テレビバラエティ 近畿地区審査で審査員特別賞を受賞しました。

日本民間放送連盟賞は、[質の高い番組制作の促進][放送による社会貢献活動]等の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟が1953年に創設した賞です。

「笑えない父と笑わせたい愛娘」

2024年3月30日(日)16:00~16:30 放送

【内容】

駆け出しの女性芸人のネタを離れて暮らす父が観たら・・・  
その先に待つのは、笑い？涙？それとも・・・？  
そんな父娘の感情の揺れ動きを  
漫才コンビ・囲碁将棋がそっと見守る  
「感情がジェットコースターする」ドキュメンタリーネタ番組。



1人目の主人公は、舞台を中心に活動する  
男女コンビ・フタリズカのかりこる。  
父は牧師として、教会で地域に献身している。  
職業柄、里子を預かることもある父について、  
かりこるは「自分たちに時間を割いてもらった  
記憶がない」とのこと。そんな父との距離を縮めるべく、  
実家の教会でコントを披露するが・・・。



2人目の主人公は、芸歴9年目のピン芸人、モチダ・ポ・ソフィ。アルバイトを掛け持ちして、生計を立てている若手芸人だ。そんな彼女は芸人の道へ進む際、広島で暮らす父に激怒され、そのまま逃げるように実家を飛び出している。そして、そこから5年、“絶縁状態”が続いている。そんな彼女が幼い頃父とよく遊びに来ていたバッティングセンターでネタを披露すると・・・父娘の間の溝は埋まるのか。



娘へ抱く複雑な思いから“笑えない”父を前に、娘たちはそれぞれの夢や、父に対する思いを抱いて、思い出の地でネタを披露する。登場する父娘の思いや関係性はみな様々。父娘それぞれの不器用な優しさや愛情が交錯する。

【スタッフ】

プロデューサー … 重信篤志  
演出 … 木村小夏  
ディレクター … 米澤のぞ美